

春雨通り周辺エリア

■エリアの概要

春雨通り周辺エリアは、銅座川・中島川に沿った平坦地で、百貨店や大型スーパーなどが集まる賑わいのある商業地区です。春雨通りは、路面電車が通り、多くの人々が行き交う繁華な雰囲気を持っています。浜町にはアーケード商店街が縦横に通って、各種店舗が軒を連ねています。なお、銅座川は、一部で暗渠が撤去され河川の水辺空間が再生されて、今後も事業を進める予定となっています。

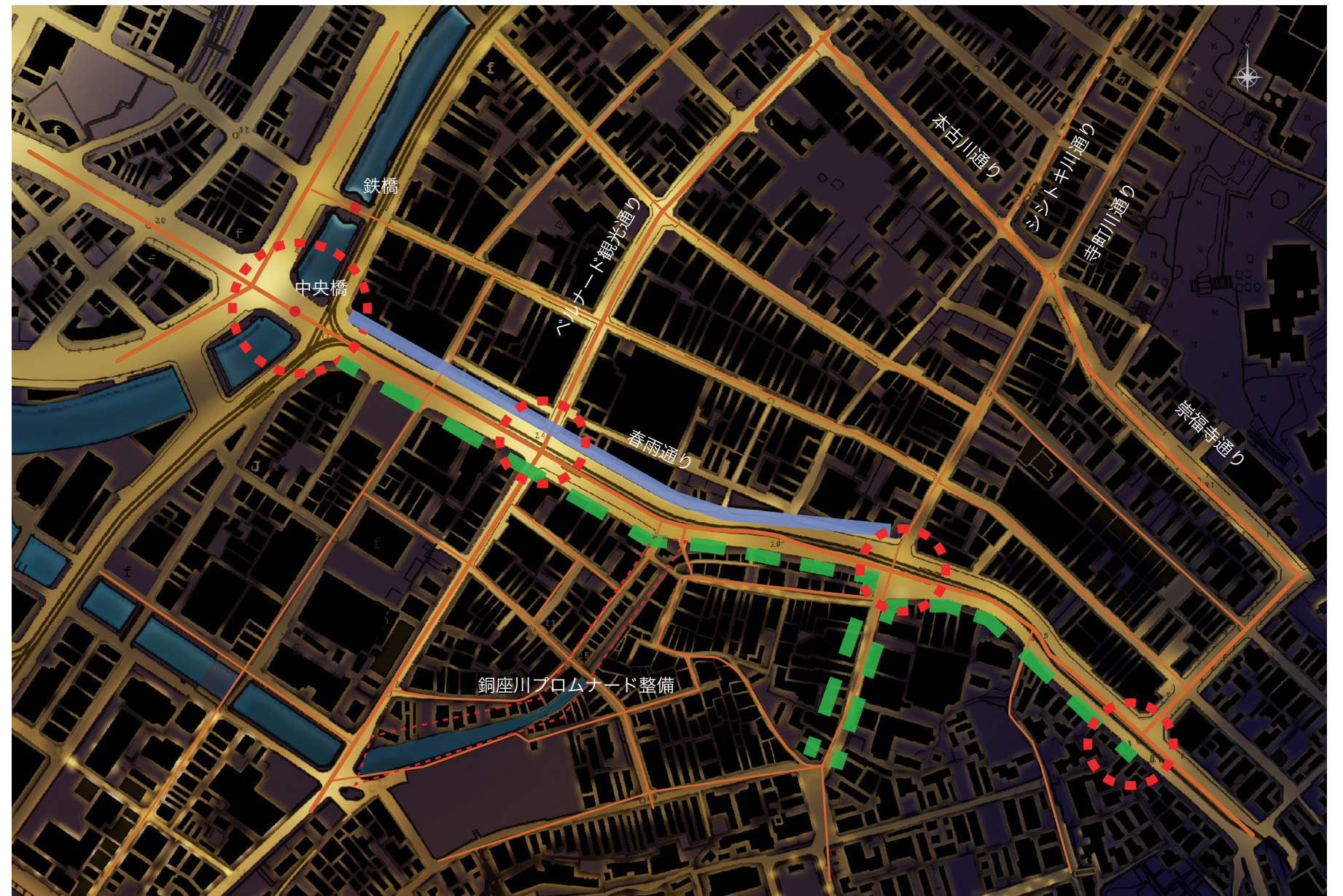
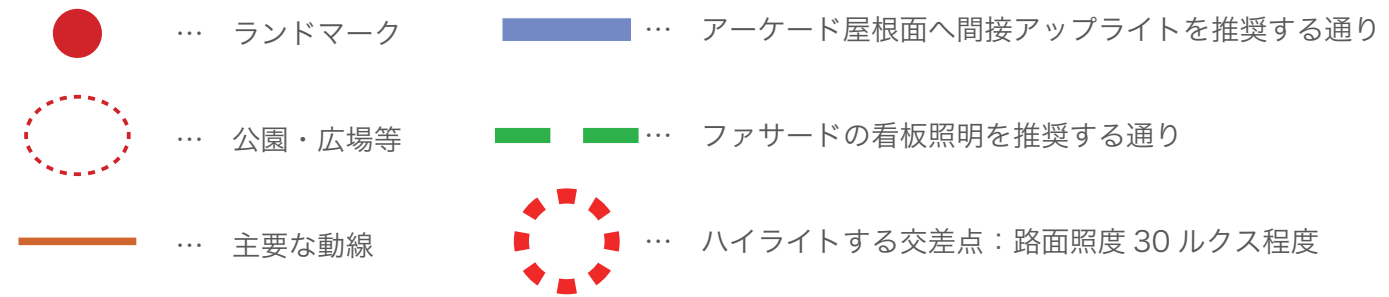


コンセプト：賑わいを発信する光

県下最大の繁華街として、高揚感や楽しさを印象的に演出するとともに、都市照明の基本的な品質もしっかりと確保しながら、長崎における賑わいの発信地となる夜間景観の形成を目指します。

■方針

- ・春雨通りは、全体的に明るさを確保しながら、シンボルロードらしく表情にメリハリを持たせます。
- ・デザイン性の高い建物ファサード照明や看板照明を推奨します。
- ・銅座川プロムナードの整備は、河川を活かした照明とし、夜間の新たな憩いの場所になるよう検討を進めます。



4. 夜間景観向上のためのガイドライン

4-3. 中・近景の夜間景観づくり

4-3-8. 春雨通り周辺エリア

現状調査

■現状分析と課題

繁華街らしく看板照明のまぶしさに覆われた思案橋とは対照的に、春雨通りやアーケード街は、店舗が閉店すると一気に暗くなります。特に春雨通りには車道照明が設置されていないことから、積極的に賑わい感のある光を演出する必要があります。



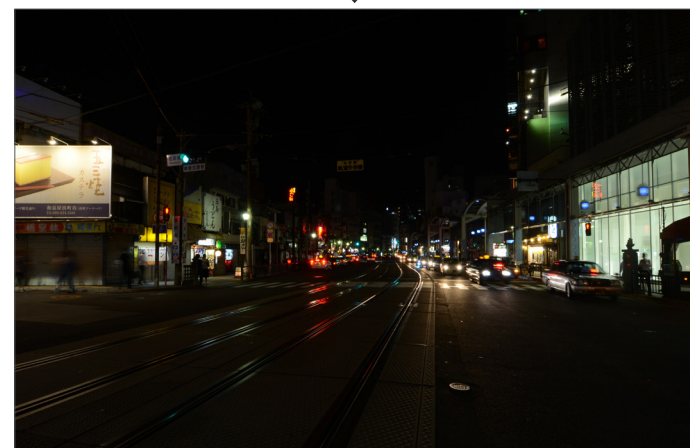
①春雨通り



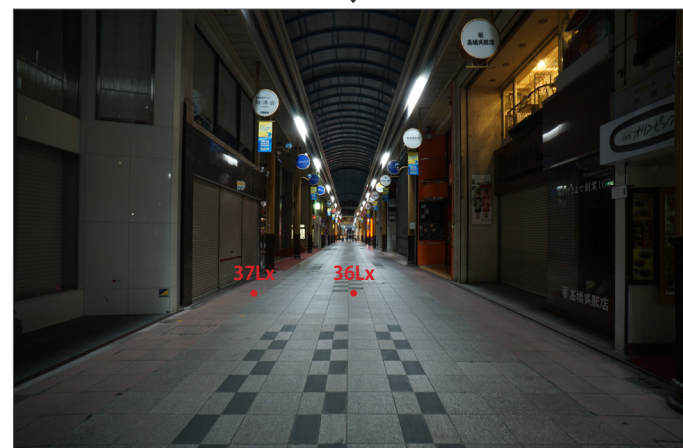
②浜町アーケード



③ベルナード観光通り



車道用の照明がなく、交差点や横断歩道が暗く感じられる。思案橋側からの看板照明の漏れ光が明るさ感をつくっている。

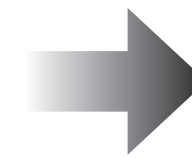


店舗が閉まったアーケードとして安全性はあるが、やや不要な明るさを感じる。



浜町アーケードとは対照的にやや暗い印象を受ける。常夜灯が中央上部の看板に遮られ、所々暗いところがある。

	現状調査から見た問題点	
陰影の考え方		<ul style="list-style-type: none"> ・明暗のコントラストが強い ・軸線となる大通りが暗い
色温度		<ul style="list-style-type: none"> ・ナトリウムランプは 2000K、街路灯の一部は 5000K
鉛直面輝度		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の雰囲気はよいが閉店後は特に何もされていない
グレア対策		<ul style="list-style-type: none"> ・きらびやかではあるが、街路灯などにグレアを感じる
演色性の優先度		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな問題なし
器具		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな問題なし
オペレーション		<ul style="list-style-type: none"> ・深夜帯に歩行用の照明が残り、オペレーションは好ましいが明るすぎる



夜間景観向上のための基本原則	
<ul style="list-style-type: none"> ・通りの照度を上げ、2-30Lx 程度に設定する 	
<ul style="list-style-type: none"> ・3000-3500K 程度に整える 	
<ul style="list-style-type: none"> ・看板、アーケード、天井、柱への照明を演出的に行う 	
<ul style="list-style-type: none"> ・グレアに配慮する 	
<ul style="list-style-type: none"> ・人通りが多いエリアのため、 Ra90 以上を基本とする 	
<ul style="list-style-type: none"> ・特記事項なし 	
<ul style="list-style-type: none"> ・現状でもアーケード等で深夜帯に歩行用の照明を残すなどの好ましいオペレーションが行われているため、更に魅力が向上するよう検討する 	

※ Lx (ルクス) とは：光によって照らされる面の明るさ (面積あたりの光束)
 ※ K (ケルビン) とは：光源の固有の色味を表す単位

※ 輝度とは：人の目に飛び込んでくる明るさ (面積あたりの光度)
 ※ Ra (アールイー) とは：光源による色の見え方の再現性を表す単位

4. 夜間景観向上のためのガイドライン

4-3. 中・近景の夜間景観づくり

4-3-8. 春雨通り周辺エリア

思案橋交差点 整備イメージ



現状



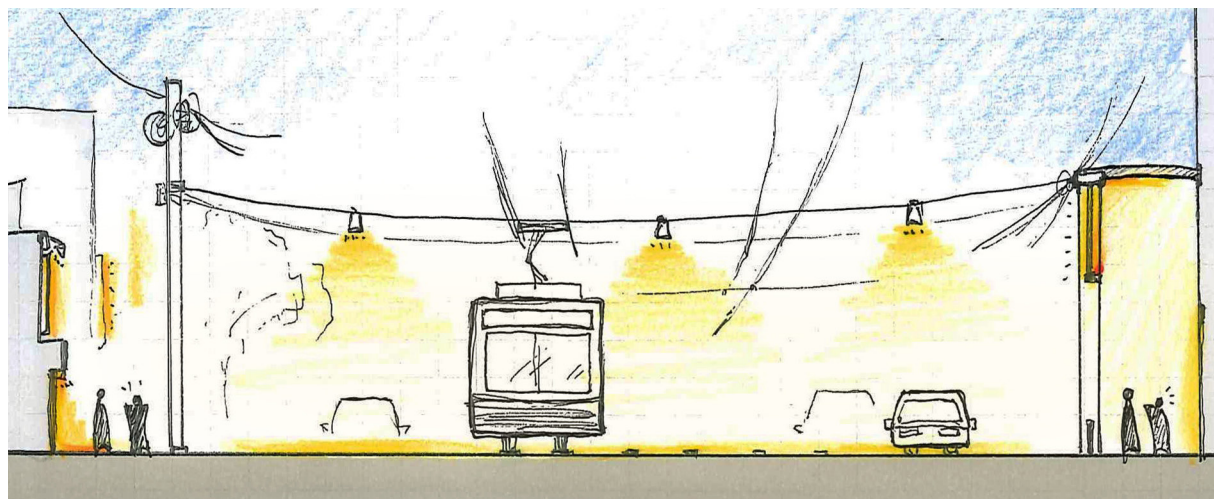
整備イメージ

■整備イメージについて

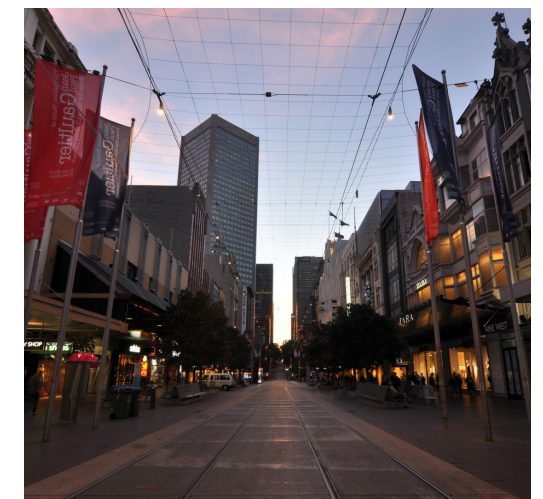
路面電車の架線に紛れるようなカテナリー照明の設置による路面照度の確保を検討します。

結節点となる交差点については、ポール灯も併用し、明るさのメリハリによって活気が感じられるようにします。

通りの両側には、賑わいを感じられるよう、歩行者アーケードの屋根面への間接照明や、グレアに配慮した看板照明の設置を推奨します。



断面イメージ (S = 1/200)



大通りのカテナリー照明 (メルボルン)